

各種薬剤に対するチャノキイロアザミウマの感受性					
[要約]カンキツ園周辺の植物から採集したチャノキイロアザミウマ成虫に対して、多くの薬剤の殺虫効果が認められるが、特に <u>ディアナ WDG</u> 、 <u>スピノエースフロアブル</u> 、 <u>キラップフロアブル</u> の殺虫効果が高い。					
果樹試験場・病害虫研究担当			連絡先	0952-73-2275 kajushiken@pref.saga.lg.jp	
部会名	果樹	専門	果樹虫害	対象	カンキツ

[背景・ねらい]

近年、チャノキイロアザミウマによるカンキツの前期被害が多発して対策に苦慮している。多発要因の一つとして、薬剤に対する感受性が低下しているのではないかとの懸念が指摘されている。そこで、現地カンキツ園周辺に発生しているチャノキイロアザミウマ成虫を採集して各種薬剤に対する感受性を調査し、防除対策のための資料とする。

[成果の内容]

1. 虫体浸漬処理による検定では、ディアナ WDG、スピノエースフロアブル、キラップフロアブル、ハチハチフロアブルの薬剤処理2日後の補正死虫率はすべての個体群において100%であり、エクシレル SE、モスピラン SL 液剤、ダントツ水溶剤の薬剤処理2日後の補正死虫率はすべての個体群において80%以上である(表1)。
2. 経口処理による検定では、ディアナ WDG、スピノエースフロアブル、キラップフロアブル、モスピラン SL 液剤、ダントツ水溶剤の薬剤処理2日後の補正死虫率はすべての個体群において100%である(表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 本試験では、平成29年5月中旬～9月に小城市小城町(佐賀県果樹試験場内)、佐賀市大和町、鹿島市のカンキツ園周辺のイヌマキやチャ等に寄生しているチャノキイロアザミウマ成虫を採集し、採集当日に薬剤処理を行った。検定はガラス管を用いて行い、虫体浸漬処理はガラス管内に薬液を入れ、チャノキイロアザミウマ成虫の虫体に薬液を処理した。経口処理は、餌となる10%シヨ糖液に所定の濃度となるよう薬剤を混和し、チャノキイロアザミウマ成虫に摂食させた。
2. 薬剤はチャノキイロアザミウマ成虫の発生時期に合わせて散布することが重要であるが、発生量や発生時期は気象条件や周辺の植物等により年・場所ごとに变化するため、黄色粘着トラップ調査結果等の情報を参考にして、防除時期を決定する。

[具体的なデータ]

表 1 虫体浸漬処理による各薬剤のチャノキイロアザミウマ成虫に対する効果 (2017 年)

薬剤名	希釈倍数 (倍)	補正死虫率(%) ¹⁾					
		小城市小城町		佐賀市大和町			鹿島市
		5/15採集虫	6/13採集虫	8/23採集虫	9/4採集虫	9/13採集虫	9/8採集虫
ディアナWDG	10,000	100	100	100	-	-	100 ²⁾
スピノエースフロアブル	6,000	100	100	100	-	100	100 ³⁾
キラップフロアブル	2,000	-	100	100	100	100	-
ハチハチフロアブル	2,000	100	100	100	100	100	100
エクシレルSE	5,000	87.9	92.2	100	96.1	91.5	85.9
モスピランSL液剤	2,000	89.3	95.7	100	92.7	100	100
ダントツ水溶剤	2,000	91.2	96.2	95.3	92.7	95.0	100
アクタラ顆粒水溶剤	2,000	77.4	82.1	52.9	62.1	77.6	91.4
スタークル顆粒水溶剤	2,000	64.6	91.7	-	57.8	78.4	100

1)薬剤処理2日後の補正死虫率

2)5,000倍での補正死虫率

3)4,000倍での補正死虫率

表 2 経口処理による各薬剤のチャノキイロアザミウマ成虫に対する効果 (2017 年)

薬剤名	希釈倍数 (倍)	補正死虫率(%) ¹⁾			
		小城市小城町		佐賀市大和町	
		5/15採集虫	6/13採集虫	9/4採集虫	9/13採集虫
ディアナWDG	10,000	100	100	-	-
スピノエースフロアブル	6,000	100	100	-	100
キラップフロアブル	2,000	100	100	100	100
エクシレルSE	5,000	86.5	87.6	78.3	50.9
モスピランSL液剤	2,000	100	100	100	100
ダントツ水溶剤	2,000	100	100	100	100
アクタラ顆粒水溶剤	2,000	100	100	67.9	80.2
スタークル顆粒水溶剤	2,000	100	100	41.8	78.8

1)薬剤処理2日後の補正死虫率

[その他]

研究課題名： クリプトキサンチンの供給源となる国産カンキツの周年供給技術体系の実証

予算区分：地域戦略プロ

研究期間：2017 年

研究担当者：白石祥子・口木文孝・野口真弓